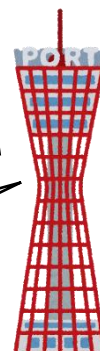


第19回全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 兵庫



今年もみんなで学べるよ！

期 日：2020年1月11日（土）
～13日（月）

会 場：全体会 神戸芸術センター（JR新神戸駅前）
講座・分科会 神戸市勤労会館（JR三ノ宮駅前）
新長田勤労市民センター（JR新長田駅前）
フォーラム 神戸市勤労会館（JR三ノ宮駅前）
全体交流会 神戸サンポーホール
（ポートライナー貿易センタービル駅前）

参加費：3,000円（一日のみ参加は2,000円、全体交流会6,000円
フォーラムのみ参加1,000円 保護者・学生は500円）

11日 (土)		12:00	13:00～16:30	18:30～
		受付	開会全体会 現地企画 記念講演 赤木和重さん(神戸大)	全体交流会
		神戸芸術センター		サンポーホール
12日 (日)		9:30～11:20	12:40～17:00	18:30～
		・てんこ盛り講座 ・文化バザール ・特設フィールドワーク	・基礎講座 ・旬の実践分科会	交流会(各県ブロック・ 青年・障害児学級)
		神戸市勤労会館・新長田勤労市民センター		
13日 (月)		9:30-12:00		
		教育フォーラム		
		神戸市勤労会館		

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会
【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

※ 全体会・講座・分科会は現在検討中のものです。今後変更もありますのでご了承ください

1 / 1 1 (土)

全体会 13:00~16:30

- ◇ オープニング
- ◇ 基調報告
- ◇ 養護学校義務制40年企画
- ◇ 現地企画
- ◇ 記念講演 赤木和重さん(神戸大)



全体交流会 18:30~

会場：神戸サンボホール (ポートライナー貿易センタービル駅前すぐです)
 神戸市中央区浜辺通 5-1-32 TEL: 078-251-3551

今回は講座・分科会を神戸市勤労会館と新長田勤労市民センターの2か所で行います

てんこ盛り講座(1/12) 9:30~11:20

講座名	
わくわくどきどき楽しい国語	わくわくどきどき楽しい算数
わくわくどきどき楽しい美術	障害の重い子の発達を学ぶ
医療的ケアを考える	キャリア教育を考える
高校における特別支援教育	性教育を学ぼう
障害児学級での授業づくり・学級づくり	集まれ臨時教職員
教職員の働き方	福祉型専攻科の実践
改訂学習指導要領を考える	

特別講座(1/12) 9:30~11:20

講座名
(特設) 阪神・淡路大震災を学ぶフィールドワーク
阪神・淡路大震災から間もなく25年の節目を迎える今回の学習交流集会。去年の東日本大震災のフィールドワークに続き、今年も現地をめぐるフィールドワークを行います。参加者それぞれの地域における障害児者の防災とは何かを問い直すきっかけにできればと思います。今年も現地を歩いて行うフィールドワークです。

文化バザール(1/12) 9:30~11:20



講座名	
子どもが笑顔になるマジック講座	音楽あそび
即興新喜劇	

基礎講座(1/12) 12:40~17:00

	講座名	講師
前半	発達の視点からの子ども理解	木下孝司(神戸大)
後半	現在企画中です	

旬の実践分科会(1/12) 12:40~17:00

旬の実践分科会 レポート討議を行います	
1, 障害児学級での教育実践 (小)	「できることを増やす」「行動を矯正する」ことが障害児学級の仕事ではありません。学級集団を大事にし、その中で対人関係の力を育むこと、子どもが目を輝かせてとりくめる教材や文化的とりくみを用意すること、その2つの視点をもとに学び合ひましょう。
2, 障害児学級での教育実践 (中)	
3, 通常学級の教育実践	通常学級にいる発達障害の子どもたちの内面に寄り添い、一人一人が生き生きとした学校生活を送れることを目指した実践を深めていきましょう。
4, 通級指導教室の教育実践	通常学級の中で困り感を持っている子どもが学校生活の主人公になれるように、通級指導教室でどんな支援をしていったらよいのか考え合ひましょう。
5, 視覚障害児の教育実践	視覚に障害のある子どもたちは、単一障害から重複障害までさまざまです。幼児教育から専攻科の指導、寄宿舎の生活教育など、幅広い実践を通して視覚障害教育で大切にしたい視点や専門性を深めましょう。
6, 聴覚障害児の教育実践	障害の早期発見、補聴器性能の向上は、インクルーシブ教育の流れと相まって聴覚障害児の就学に大きな影響を与えています。地域に学ぶ子どもたちの支援や指導のあり方、小規模校における専門性の継承発展と共に実践の改善・工夫、発達保障のとりくみを学び合ひましょう。
7, 病弱の子どもたちの教育実践	病院の医療の中で生きる最重度の子ども、病気治療のために院内学級で学ぶ子ども、身体面は健康でも、情緒面の障害のために病弱養護学校で学ぶ子ども・・・。「病弱教育」の対象は本当に多様ですが、「子どもの気持ちを最大限尊重する」ことを大切にされた教育実践を創造しましょう。
8, 発達の遅れと授業づくり ・教育課程づくり ア) 最重度と言われる子どもたち	心の動きが見えにくいとされる最重度と言われる子どもたちの内面をどのように捉え、教育課程を作り、授業を作っていけば良いのか、お互いの実践から学び合ひましょう。
9, 発達の遅れと授業づくり ・教育課程づくり イ) ことば獲得期の子どもたち	自我の芽生えから拡大、言葉を獲得し、イメージを豊かに広げるというそれぞれの段階において、心に響く文化をどう用意するか、育ち会う集団をどう保障するか等々、人格を豊かに育てていくための授業づくり・教育課程づくりについて考え合ひましょう。
10, 発達の遅れと授業づくり ・教育課程づくり ウ) 教科・教科入門の子どもたち	新学習指導要領は教科の内容に細かく踏み込んで規定していますが、教育は国の求める人材づくりの道具ではありません。子どもの実態に基づいた真の学びとは何か、子ども自身の学び意欲とキラキラ光り輝く表情を引き出す授業づくり・教育課程づくりについて考え合ひましょう。
11, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり (小)	一部を強調した TEACCH や視覚支援。パターンにはまれば一見「うまくいく」ように見える自閉症の子どもたちをまるごととらえ、障害特性を越えた支援のあり方と、一人ひとりの発達する姿を確かめ、参加者のみなさんと深めましょう。
12, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり ・教育課程づくり (中・高)	思春期を迎え、自閉的傾向が強くなったり強度行動障害が顕在化したりして、学校生活を心地よく過ごせない子どもたち。こうした困難を抱える子どもに寄り添い、どう授業を展開したらよいか、どんな学校にしたらよいかを考えていきましょう。
13, 青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	自分を表現するのが苦手、不登校を経験するなど困難な生活経過を経て高等部に入ってくる生徒たちに対して、内面に寄り添い心を開いていく取り組み、教科学習や行事、文化にふれる中で自分のいいところに気づき自分なりの表現方法と自己実現を模索する取り組み。卒業後を見据えた実践などを報告します。
14, 性教育の実践	すこやかな発達の証である性の発達と成長を、障害児自身も周囲も喜んで迎えられるよう、リアルな実践報告や教材交流を通してともに学び合ひましょう。
15, 保護者との共同・教育条件整備 (運動交流)	保護者とどのようにつながり運動を発展させるか、保護者と一緒に運動を進めるにはどうすればよいか、これまで保護者との運動を進めてきた県の報告やその基礎となる民主的な職場づくりと関連させながら今後の運動の発展方向を探りましょう。
16, 子どもの生活を考える (寄宿舎)	社会の情勢とからんで家庭の養育困難や生活基盤が揺らぐなかで、寄宿舎は家庭を支え、子どもたちの成長・発達の一翼を担っています。幅広い方とともに寄宿舎の意義や役割を語り合ひましょう。

各種交流会 (学級・青年・各県・各ブロック別) 1/12 分科会終了後に予定

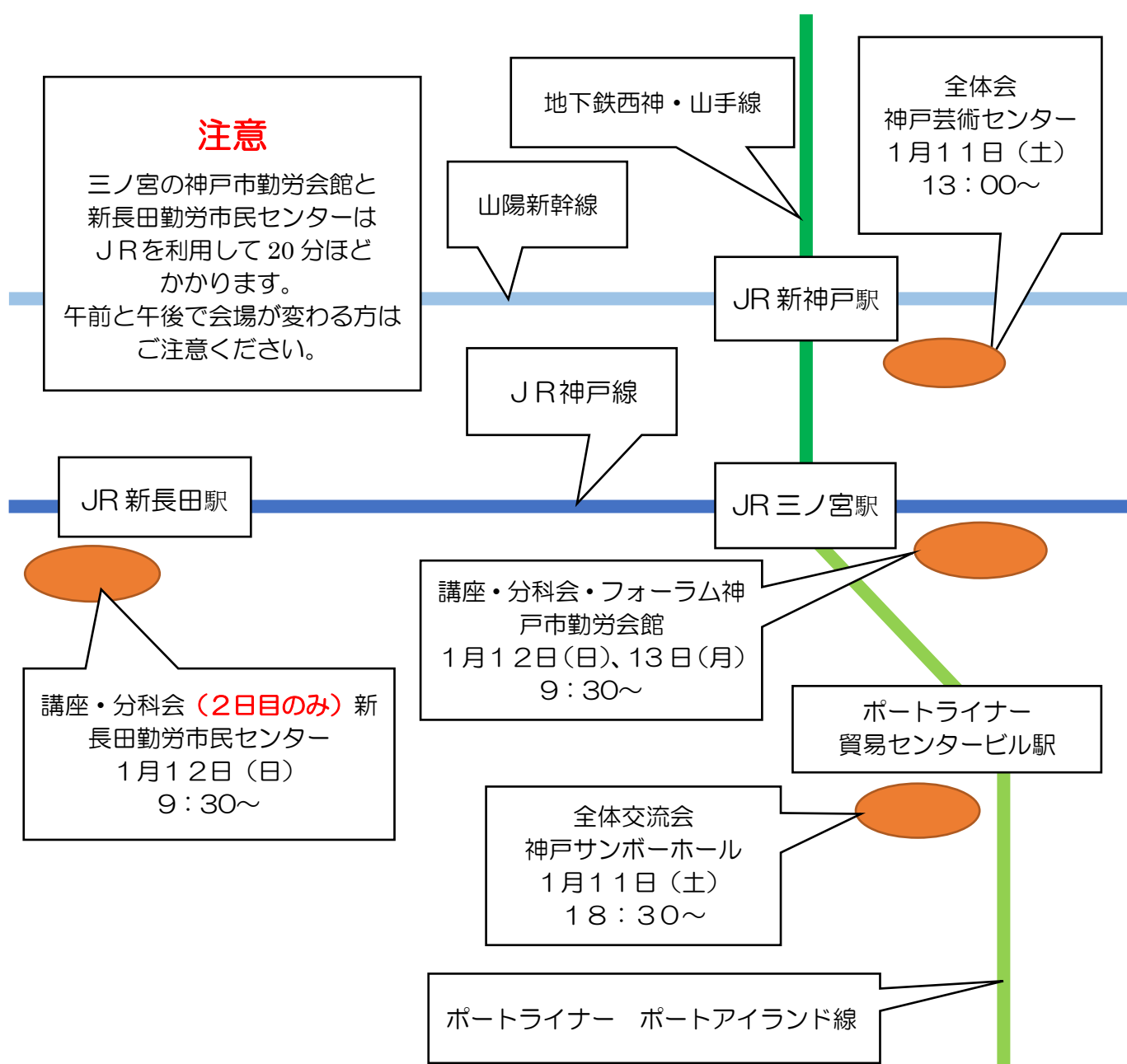
教育フォーラム(1/13) 9:30~12:00

フォーラム名(仮)	
1	小中学校の子どもたちの多様なニーズを考える
2	改訂学習指導要領を考える
3	保護者の願い
4	震災と障害者

来年の1月は全国のみんなと一緒に神戸へ行こう!



会場案内図



※集会の参加要綱と集会参加申込用紙は9月下旬頃に作成を予定しています。